



発行所 東京片貝会 東京都江東区高橋5-1-313 電話 (632) 0156

# 創立30周年の春を迎え 楽しく巳どしの集いを ご案内

昭和64年1月22日(日) 東京新潟県人会館にて

すこやかに新春をお迎えのことと存じます。機会あるたびにお知らせ申しあげてきましたが、いよいよ本年は創立30周年に当たります。私共役員一同は、この記念すべき時を、心からの喜びと、緊張の気持ちで新年を迎えています。会員の皆様からも、新年会にご出席いただき、よきアイデアをお示しいただけるならば、まことに有り難いことです。多数のご参加をお待ち申しています。今回も皆様から持ちよりのお年玉を、ご寄贈いただいで、福引をやりたいと思います。恐縮ですが、当日お持ち下さいますよう、お願い致します。返信はがきに、品名をお書き添え下さい。

- 一、日時 64年1月22日(日) 午後一時(正午より受付)
- 一、会場 東京新潟県人会館(台東区上野1丁目13-16) 営団地下鉄「湯島」二分(千代田線)、「上野広小路」六分(銀座線)、JR「御徒町」七分

- 一、会費 五〇〇〇円(料理・飲み物・果物・福引)
- 返信は一月十四日までに到達するようお送り下さい。

## 会の動き

第29回総会 5月29日 2面参照 母校を励ます会 10月3日

3面参照 役員会 11月20日

秀和会館で10名が集って、新年会及び30周年記念総会の運営について話しあった。

丸山貴司氏(顧問) 5月1日逝

去 会の発足以来、常に温かい協力者であった。今日あるのも、同氏の力が大きい。ご冥福を祈ります。

## 創立三十周年記念によせて

会長 勝又 功

迎える一九八九年は、私達東京片貝会創立三十周年の節目の歳であります。創立以来、会の維持発展に献身された諸先輩に感謝申し上げ、会員の皆様の総力を集めて、よりよい発展のために、大きく強固な節を作りたくと念願しております。

既に記念行事の一つとして、名簿を作成し、配付申上げました。更に定期総会を記念総会として、開催する予定であります。詳細は会員の総意を結果して、真に意義深い行事にしたいと存じますので早急に実行委員会を発足させ、万全の準備を進めたいと思っております。実行委員には現役員をお願いすると共に、更に各年次より二名の代表をお願い致します。

記念総会には、一百名前後のご出席を期待しております。会場として、左記に予約致しました。ご協力をお願い申し上げます。

会場 期日 七月九日(日) 八芳園(港区白金台) 白鳳館

## 子ども達の声

中学校図書委員長 小宮忍 毎日部活動に、学習に頑張っています。バスケット、野球、吹奏楽ではすばらしい成果をあげることができました。

図書委員会も「全校生徒が図書館をたくさん利用してくれるよう」を目標に頑張っています。十万円もの寄付をいただくことができ、本当にありがとうございます。暖かい皆様のお志を、有効に使わせていただきました。これからも、片貝中の生徒は、いろいろな活動に頑張っていきたいと思っております。

一年 ほりい めぐみ ようようふんこの中で、あかいひょうしの二年生さんが、大スキです。インッポものがたりが、とてもおもしろかったです。ほかにもおもしろいものがあるので、もっとたくさんよみたいとおもいます。あたらしい学校になったので、みにきてください。

小学校図書委員長 安達 訓 洋々文庫を送ってもらってありがとうございました。新しい本が入るたびに、図書室

住所及び表示変更

12	大	安達	忠次	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
12	大	小宮	孝作	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
2		友田	勇四郎	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
6		大堀	登世	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
10		井野	八重子	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
10		富家	ヨシ	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
12-19		山口	信次	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
16		小出	次子	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
17		太刀	川子	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
18		岸野	カ子	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81
18		小川	柳四郎	178	川崎市多摩区中野島2340-C-81

18	岩根	市仲	久保	179-7
19	小川	市青	木	3-3-3
22	川口	市北	玉	郡騎西町5611
24	横北	区北	里	3-18-9
24	岩根	市上	野	1-10-49
26	横北	区中	田	2-17-20-701
26	岩根	市上	野	1-10-49
27	岩根	市上	野	1-10-49
28	岩根	市上	野	1-10-49
32	岩根	市上	野	1-10-49
32	岩根	市上	野	1-10-49
37	岩根	市上	野	1-10-49

逝去 大12 浅田 庄次

光あふれて

# 東京片貝会の集い — 第29回 —

昭和63年5月29日  
東京新潟県人会館で

初夏の明るい日差しが降り注いでいる。  
総会は松下利夫さんの司会で開始された。

副会長の黒崎 正さんが、あきつその後、勝又会長が立って、この度片貝農協から40周年を記念して、出席者全員にこしひかりが1kgずつを贈られたことについて、よく噛みしめていただいたとう、お礼を述べた。

続いて五月一日に逝去された丸山貴司さんの冥福を、みんなと共にお祈りした。  
議事に入る

会の動きは会報を見て欲しい。決算では、積立金をとりくずした

母校を励ます会  
会の代表佐藤祐一さんから、次のような報告がなされた。

日頃のご協力には感謝のほどありません。現在の残額は九一万円となっているが、本日で百万円に達するものと思う。図書は小学校では洋々文庫として特設されており、中学校でも同様、生徒によく利用されている。秋の講演会の講師も、問もなく決まる予定です。どうぞ、今後ともよろしく、とお願ひして、本年度の図書費を、十万円ずつ贈呈した。



お祝いのことば

だけで、全体の残高は特にふえたわけではない旨を黒崎会計部長が説明して、了解された。小川茂雄さんの監査報告も無事終了。  
再び会長が、来年度に近づいてきた30周年記念事業、その他について提案があった。

実行委員会を作って、それをもって進行したい。期日も、五月ではなく、もう少し先に延ばしては、と考えている。今回の案内は六百五十名と上げたところ、半数の会員から返信があった。その協力ぶりに感銘を受けたとのあいさつがあった。

語りあい、歌いあい  
賑やかに、楽しく懇親会が始まる。郷里のお客様と打ち明けて語りあう喜び、恩師の箕輪先生を囲み、久々に会った友達との尽きない懐旧談。きょうの会合は、そのためにあったのだ、としみじみ思う。

歌に、踊りに、しやぎりの演奏会場はむんむんと人いきで、沸きかえる。  
やがて木遣り唄を大合唱の後、再会を約して散会した。農協からいただいた「こしひかり」をおみやげにして帰路についた。

ふるさととの近況  
小宮製菓の大工場が池津に今の工場が、魚沼線の跡地のパイパス拡張にかかると、池津に移転することになった。山林を開いて、七町歩の広さで、四百人から七百人の規模にする計画。池津も工場団地として大きく変わるだろう。

う。

片貝駅の跡地は、ゲートボール場、駐車場、遊園地などを考えている。30周年の行事として、協力できることがあれば、お伺ひしたい。(協議会長・吉田一雄氏)

新時代に生きる農業を  
土壌整備が完成した。田の中へ水道管が入って、水量の調節ができるようになった。そこで収量も多くなるのに、米を食べる量は、昔の三分の一になった。

うまい米を作って、たくさん食べてもらいたい。値段も安くしてこれが農協の願いです。  
きょうさし上げる米は、荷物になるが、味わってたべてほしい。(農協組合長・本田初太郎氏)

ふるさととの活性化を  
片貝が小千谷市と合併して、32年経ちました。当時人口は五千五百人あったが、今は四千二百人になった。が、30年前とあまり大きな変化はない。若い者が育つ町、魅力ある町にしたい。活性化につながる努力をしています。私の大好きな片貝のために

中学校は大活躍  
今日小学校では大運動会をやっており、私が一校の代表として出席しました。メッセージを代読。昨年は市内の試合で、球技三種目に優勝。バスケットは十一年振りで中越大会にも優勝した。このほか音楽や作文でも好成績をあげ花壇コンクールでは、最優秀賞をもらった。四十周年式典もすみみんな学業に、運動に励んでい

子どもを育てて  
子どもの健全育成をはかるため全国的な広がりを持っている子ども会がある。今度小千谷市子ども会長のひきを受けて、雪原まつりにも参加して、他町村との交流にもつとめた。ふるさと学校が復活するところがたい。

立派な校旗を中学校へ  
中学の40周年を記念として、同窓会が校旗を寄贈した。片貝会からもご寄付いただきありがとうございます。どうか帰郷の際は、立派な校旗を見つけてほしい。(農協参事・同窓会副会長 黒崎力雄氏)

片貝はほんとによい町  
私は新卒後、二年余片貝小学校に勤めた。教え子は今でも私を恩師として迎えてくれる。この喜びは私の長生きにもつながっていると思う。85歳になりました。

当日の出席者(67名)  
安達幸吾 吉原菊枝 藤塚栄二郎 内野マツ 阿部修次 横見キミ 佐藤 弘 菅野リヤ 黒崎 勇 石上健次 平石和子 小林 均 猪山イツ 帰山亭二 武藤睦子

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)



子ども会を育てて

子どもを育てて  
子どもの健全育成をはかるため全国的な広がりを持っている子ども会がある。今度小千谷市子ども会長のひきを受けて、雪原まつりにも参加して、他町村との交流にもつとめた。ふるさと学校が復活するところがたい。

立派な校旗を中学校へ  
中学の40周年を記念として、同窓会が校旗を寄贈した。片貝会からもご寄付いただきありがとうございます。どうか帰郷の際は、立派な校旗を見つけてほしい。(農協参事・同窓会副会長 黒崎力雄氏)

片貝はほんとによい町  
私は新卒後、二年余片貝小学校に勤めた。教え子は今でも私を恩師として迎えてくれる。この喜びは私の長生きにもつながっていると思う。85歳になりました。

当日の出席者(67名)  
安達幸吾 吉原菊枝 藤塚栄二郎 内野マツ 阿部修次 横見キミ 佐藤 弘 菅野リヤ 黒崎 勇 石上健次 平石和子 小林 均 猪山イツ 帰山亭二 武藤睦子

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

来賓(別掲)7名  
総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

大正  
佐藤正雄 浅田兼次 小野塚健次  
吉原賢策 相崎尚次 高野朝五郎  
浅田 浩 佐藤量八 神林徳次  
水内脩治 安達幸吾 三重堀繁藏  
星野三作  
昭和2110  
山田ヨシ 小川茂雄 日下部政子  
相崎勇次 吉井武二 友田勇四郎  
山田セジ 芝 五郎 小野塚マツ  
安達 武 佐藤フミ 藤塚栄二郎  
幸川とし 山口三郎 相崎善次郎  
浅田健二 丸山 春 藤田睦子  
田口加代 大内登世 吉原彦作  
黒崎孝造 小宮竹次 本田松次  
勝一 功 芝三四司 佐藤彦一  
武藤睦子 吉原菊枝 山口武一郎  
小宮良夫  
昭和11120  
高橋四郎 浅田鉄夫 太刀川善藏  
山田チエ 小田レウ 中野みちよ  
岩片チエ 松下利夫 佐藤道雄  
五十嵐貞雄  
昭和21130  
新野次朗 黒崎 正 相崎達一  
佐藤祐一 黒崎 勝 小野塚 茂  
昭和3132  
芝 満雄 諸我時夫

総会に当り、左の方々よりお祝をいただいた。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

# 私の体験から——小野塚国春氏—— 21世紀の主役たちへ

10月3日片貝中学校体育館にて  
母校を励ます会第7回記念講演

暖かい陽ざしがさし込む、おたやかな秋の日。校舎の前庭には、県で努力賞に輝いた見事な花が咲き乱れていた。

先頭辞任された吉原同窓会長及び副会長に感謝状が贈られた後、講演会が始まった。

私は15回の卒業生です。中学を出ると長岡工業高校に入りました。それで電子工学を勉強して、18歳で片貝を離れ、東京に出ました。初め芝電機という会社で二年働き、20歳の時、イギリスに渡りました。イギリスで四年間仕事をやり、日本に帰ってきて、ソニーに入りました。ソニーの厚木工場でテレビ放送に使う機械を作る仕事をしていました。ソニーは、今放送



用機器の分野では、世界一になったと言われているが、約三千人の人達が仕事をしています。

私の話は、日頃自分のモットーとしていて、三つあります。まず「前向きな生き方をしよう」ということ。

今年は1988年で、あと12年で21世紀になります。その頃皆さんはどんな風になっているでしょうか。考えてみてください。

ソニーには自己申告制度があります。年一回社員に「将来自分は何になりたいか、三〜五年後には、今年一年はどうしたいか」を書く欄があり、自分の希望を書いて提出させる制度です。私は15年いますが、あてずっぽうに書いたことも、実行しています。

皆さんは、お父さんやお母さんに、又友達や先生に、自分のやりたいこと、なりたい職業について話をしていますか。せむそいう話をしてみてください。その時無理と思えることも、周囲の協力が得られたり、以外と実現することが多いものです。

今なすべきことを一生懸命やっつけて下さい。自分の希望をはっきり意思表示すること、自分の希望を決めて、いろんな人に伝えることです。

次に「これだけは守りたい」ということ。それはフエアでありたいということ。フエアとは正直である、真面目であるとか、クリンであるということ。原則をしなければ、フエアでしょうか、無論最低限のフエアは保てるのが、本当のフエアとは人の為になることを実行すること、別なことでは言え、正義を実行することです。

オーストラリアへ行って、FM放送を改善するため、コンピュータを使って、自動化する仕事をしました。ところが、その為16人のうち11人の仕事を奪ってしまった。非常に悲しくなりました。

同じことを繰り返さない為に、私が始めて課長になって、二人の仲間に対する対応に、大変気を使いました。

何がフエアで、何がフエアでないかは、難しい問題です。フエアをやったつもりでも、フエアではないこともあるから分らない。でも、自分はいつもフエアであり続けたい、と願っています。

最後に「自分が得意なことを大切に」私は中学生の頃、理科がとても好きでした。特に化学が好きでした。長岡工業高校に受かり、結局そのまま電気屋というか、今の道を歩き出した訳です。

自分の得意とする分野で、仕事が出て良かったと思います。自分の得意とすることであっても、失敗はあります。しかし失敗を恐れずに、やるというのが大切なことだと思います。皆さんの中には、オールマイテ

イの人がいるでしょう。すべての教科で万般なく得意な人は、その中で特に得意なものを見つけて下さい。そうでない人は、一つ得意なもの、次に得意なものを決めて下さい。自分よりうまく出来る人がいても、気にしないでいいのです。自分が得意と信じられれば、その人が得意なことなのです。そして、それを大切に、大切に育てて下さい。

皆さんは21世紀をなう主役です。21世紀はロボットやコンピュータが、生活に必要なものを作ったり、計算してくれる時代です。だから、その主人としての役割を果たさなくてはなりません。

## ご支援に感謝

今とは違った価値観が必要となつてきます。これからは、便利な機械がどんどん出てくる。その時に必要なのは、生活に密着した言葉です。お互いに理解し合うとする心です。それがないと、21世紀は非常に辛い年代になってしまふ。私は皆さんが、自分の得意な分野で、これから開発される道具を十分に使いこなして、楽しく有意義な人生を生きていかれることを楽しみにしています。

どうもありがとうございます。この日は小学5、6年生、中学生、町の方々が集まり、約一時間にわたる講演を、熱心に聞き入っていた。

## 母校を励ます会

会が充足以来、皆様の変わらぬ協力については、ただただ感謝あるのみです。小学生、中学生の諸君が、どんなに喜んでくれるかは、一面掲載の文章でも、よくご理解いただけることと思います。どうぞ、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

- 尚今回購入して、図書室に納められた書籍は左の通りです。
- 洋文文庫(高贈分(小学校))
- なせなせ学習(小)百科 12巻
- 少年少女世界文学館 24巻
- 人物日本の歴史 7巻
- 中学校へ寄贈分 合計43冊
- 手をつなぐ中学選書 60冊
- ・瀬戸大橋の全記録 1冊
- 合計61冊

- 最近発行された「新潟県史」の中に、占領下の情勢の項に、会長黒崎敬五郎氏が、青年団を結成して、若者の志気高揚に尽したことが載っている。ご一読下さい。
- 尚、母校を励ます会の会計の現状と、充足以来の経過の大様は、上段の報告の通りであります。
- ### 今回ご寄付の芳名 (59名)
- 掃山すま、錦織ツタ、相崎尚次
  - 佐藤重八、星野三作、安達清次
  - 小林敬司、丸山広弥、小宮孝作
  - 山口三郎、内山キミ、藤塚栄一郎
  - 安達秀一、大塚文雄、黒崎米太郎
  - 市毛トミ、小宮繁雄、小野塚レツ
  - 山口良三、阿部ナヲ、佐藤慶四郎
  - 水村ヨシ、安達敬一、中野みちよ
  - 内海光子、谷美智子、小野塚忠治
  - 野中広司、松下利夫、岸野タカ子
  - 浅田栄三、淺田弘、五十嵐登美子
  - 相沢キミ、豊田文枝、山本文子
  - 吉原登美、永井一、新沢須美
  - 吉原栄一、千葉悦子、小川エイ子
  - 佐藤祐一、松崎規子、久賀友作
  - 黒崎勝、松本キイ、小川裕配子
  - 黒崎昭夫、田口操、小野ひろ子
  - 諸我時夫、小宮成夫、内藤登美子
  - 渡辺信夫、小林敬司、高野朝五郎
  - 恩師賽輪みね
  - 山口三郎(大阪)
- (敬称略、順不同)

# ふるさと・は・今

## 町の話題

芸能祭 6月26日

中学生の吹奏楽に始まって、民謡踊り、三弦の合奏、マジックなど多彩の芸能に夏の夜を楽んだ。十団体が参加して、小学校の体育館は、四百人の参加者で埋まった今回で五回を数える。

佐平治翁の看板立つ

7月19日

天保の頃、飢饉に苦しんだ秋山郷結東村の人々を、佐藤の巨木様が食糧を送って救ってやった話は、片貝の誇りである。

最近地城おこしに力を入れている津南町では、その遺徳を偲び、一昨年から「佐平治祭り」を挙行している。津南町では友好の証として、佐平治翁の顕彰碑の脇に建てられている説明板と同じ物が寄贈されたので、支所の前に建てられた。

郷里に行かれたら、ぜひご一見ください。

ほのぼのの広場春祭り・お盆三の町バス停の隣に空地がある町内の若い人達を中心に、この広場に趣向をこらした、手作りの飾りつけをして、道ゆく人を楽しませている。とん汁やポップコーンなどのサービスもする。町の活性化に役立てば、との願

いから。その名にふさわしく、ほのぼのと暖かいものが伝わってくる。

同窓会、盛大に 8月16日

毎年お盆の恒例行事となつて、中学の体育館で総会を開いたあと、バスケットとバレーボールの親善試合が行われた。在校生も参加して、楽しい一日を過ごした。農協四十周年のお祝い

10月23日

片貝農協が発足40年になる。中学の体育館で、八百名の多数が出席して式典があった。

記念講演には、TVタレントの岸ユキさんの話。歌謡ショーもあって、華やかで、盛大な催しであった。

町の経済的中心になつて、農協の存在は、益々大きなものになつていくことであろう。

楽団十字星、10周年の夕

10月30日

中学の体育館で。団員は八名。すばらしい演奏に、聴衆はすっかり魅了された。当日の参加者から寄せられた寄付金、五万四千円は全額、市の福祉のために提供されたという。

町民駅伝大会(第9回)

11月6日

町を沸かす行事のひとつとなつた。子ども、中学生、壮年、女子

チーム、しめて五十チームが一斉に、小学校のグラウンドを花火の合図でスタートした。

和気あいあいの駅伝大会に、町民はこぞで拍手を送っていた。大屋敷の集会場

今ある集会場は、パイパス工事のため取り壊された。そして、その隣に移転改築となる。

木造一階建て、各世帯が五万円ずつを負担、市の補助も得てできあがり、十一月末の予定である。

町内の人達の努力奉仕もあって新しい集会場ができあがる。

## 中学校近況

市内陸上大会 6月14日

球技では伝統ある好成績を見せているが、陸上ではますます奮闘ぶりが目立った。

一年の佐山薫君が百米で、また高橋信明君が千五百米で、三年の大塚秀和君が八百米と千五百米で一着の好成績だった。

バスケットで優勝7月26日片貝中が中越大会で優勝したのは何十年ぶりであった。続いて豊栄市で開催の県大会でも優勝した。

これは創部以来の快挙で、支所前に垂れ幕が下がった。割れんばかりの拍手の中を、選手達が帰町

した。続いて八月三日に、北信越総合大会に出場した。石川県七尾市にて、折悪しく風邪をひいた選手があり、一回戦に羽咋中に惜敗した。



少年の主張 8月19日

北魚沼地区の十一中学校が参加した。三年の安達美紀さんは、米國留学した仲幸君の妹さん。「国際交流に向け、今、私は」と題して発表して、優秀賞を獲得した。

市民会館の大ホールにて。吹奏楽コンクールに金賞

8月28日

全日本コンクールの県大会に出場して、小千谷中と共に金賞を受賞した。上越文化会館で。

惜しくも関東大会には出場できなかった。中学の統合問題が議論される

片貝中は生徒数二百二十七名で小栗田の先にある千田中学は百九十五名、この二校を統合したらという声、市議会に出された。それでは、どこへ校舎を建てる

のか。線を引き、その中間あたりというが、町民の多くは反対だという。まことに尤もである。

## 小学校の近況

わんぱく相撲

全国大会7月31日

市の青年会議所の企画で、小学生の相撲大会があった。百二十四名の出場者の中から、片貝小の伊藤友幸君ほか二名が選ばれて、国技館の全国大会に参加することになった。

四十名の応援団と共に上京、相撲部屋の体験宿泊もあって、有意義な夏休みを過ごした。

昨年につき、2回目の参加市内水泳大会 8月9日

小千谷小学校のプールで、市内小学校の水泳大会があった。

本年は学校の工事があって、プールが十分使用できなかったせい、成績は振るわなかった。来夏を期待したい。

市内運動会 8月21日

市の白山運動場で、各校が熱戦をくり広げた。片貝小は、走り幅跳で黒崎良君、阿部智夏さん、走り高跳で本田敦君がよい成績をあげた。今年で29回目を数える。

## 秋祭り

屋の三尺玉、週刊新潮に

どこにも類のない真昼の三尺玉の版圖が、週刊新潮の表紙になつ



た。九月十五日号のもの。

週刊新潮は百二十万部も発行されており、全国へ片貝祭りが紹介された。この図柄は限定百部を、額付五万円で申込みを受けた。田中正秋氏の作品で、現代を代表する版画家として知られている。四尺玉二発あがる

9月9・10日

世界一を誇る四尺玉は、両夜十時に一発ずつうち揚げられた。今年には雨もほとんど降らず、恵まれた日和だった。

主催側の発表によると、九日は五万五千人、十日が七万五千人の人出であった。特に十日は、マイカーが駐車場から溢れ、右往左往して、至る所从小乗り合いがおきた。県外からの観光客が、バスで乗り入れ、一層の混雑だった。来年は土、日が祭日なので、今からその対策を、との声がしきりである。

## あとがき

昭和63年も暮れて、すべての人達の期待をふくらませて、新年が訪れます。本年は念にとつても意義多い年となることでしょう。綱引大会、駅伝競走、釜戸出場など割愛しました。新年会には変わらぬご支援を、互いにお会いすることは、人生の大きな喜びです。